

宗谷定住自立圏共生ビジョン懇談会（平成26年度第1回） 概要録

- 1 と き 平成26年8月26日（金） 13:30～15:00
- 2 ところ 稚内市役所 3階 市長会議室
- 3 出席者 **【委員】**
瀬川委員、鈴木委員、加藤委員、田中委員、高井委員、山本委員、石橋委員、富田委員、遠藤委員
【オブザーバー】
猿払村、浜頓別町、中頓別町、豊富町、利尻町、幌延町、北海道宗谷総合振興局
【事務局】
稚内市政策調整部市民協働課
- 4 主 旨
 - 第2期目の宗谷定住自立圏共生ビジョン懇談会委員を委嘱。
任期は平成26年8月28日から平成28年3月31日まで。
 - 座長として遠藤委員（稚内北星学園大学）、副座長として富田委員（稚内建設協会）を選任。
 - 平成23年5月策定の「宗谷定住自立圏共生ビジョン」に次の2つの事業を追加して、本年10月に同ビジョンを変更することについて了承。
 - ・産婦人科医師派遣事業
 - ・機関の共同設置
 - 今後の予定として、平成27年3月開催予定の宗谷定住自立圏共生ビジョン懇談会（平成26年度第2回）で平成27年3月をめどに行う同ビジョンの変更について意見をいただくこと及び平成27年度に開催する同懇談会で次期ビジョン（平成28年3月策定予定）について意見をいただくことで了承。
なお、事務局は事業の進捗状況を取りまとめ、各委員あて年内に配布することとする。
- 5 質疑・要望
 - **追加事業について**
(委員)
（稚内市と礼文町の産婦人科医師派遣事業について）派遣や診療にかかる費用は礼文町が負担するとなっているが、このような事業に対して、国からの補助や助成はないか。

→ 診療に対しては補助があるが、健康診断に係る経費には補助はないと聞いている。今回の事業を行うにあたり、礼文町ではエコー等の機械も購入しているとのことなので、定住自立圏の事業とすることでなにかの補助ができるのではないかとことから、事業として追加することとした。
ビジョンに記載されることで、それぞれの事業の補助ということではなく、特別交付税の算定の費用となることから、支援になるものと考えている。
 - **事業の評価について**
(委員)
今まで行われた事業の、効果や評価は懇談会の中で報告されたり検討されたりしているのか？医療の分野で言えば実態を把握するとか、医療情報のネットワーク化などが記載されているが、実態を把握したもの、整理されたものがあるとか、それ自体がこの場で明らかになっているとかいれないとか、そのような扱いはどうなっているのか？
(座長)

資料4から、2つの事業を追加して10月にビジョンの変更を行い、その後、10月以降に行政で事業の進捗状況を把握して、それらを踏まえて我々で来年3月に予定されている共生ビジョン懇談会のなかで、データが見える形で議論できるものとして理解している。

→ 既存の事業がどのような進捗状況で、住民にとってどのような効果があったのかということは整理が必要であり、それがないと次の改訂を行なうことができないので、圏域構成町村の担当者と会議等で整理をしてまとめた資料は年内にそれぞれの委員に送付したい。

○ 事業費について

(委員)

「取組内容と具体的な事業」の項目で記載されている事業費、平成23年から平成27年までの金額はどのような数字か？

→ 自治体の予算の合計額。ビジョン策定当時の額なので、現状とは違っている部分もある。自治体で負担している額を記載しているので、インフラ整備などで国が事業主体のものは記載していない。

○ 用語について

(委員)

表現として、横文字の頭文字とかカタカナとかが入らざるを得ないのかもしれませんが、意味を調べなければ分からないものがあるので、どうしても使わざるを得ないときは、注記か※で説明を付けていただければ分かりやすいのではないかと。ICTとかデジタル・デバイドとか。

→ 記載方法について、検討する。

6 意見

○ 医師不足について

(委員)

稚内や宗谷から医師を生み出していく、あるいは地元から医師を育てる連携をすることによって、効果的な何かができないかと考えている。

この地域のお医者さんをみんなの力を合わせて育てるなり、育成するということの課題がある様な気がする。

(委員)

医師の確保について、地元出身の若者たちを育てて、そのような仕事についてもらうのは大変心強いこと。大事なテーマの一つとして今後を考えていってほしいのではないかとと思う。

○ 人口減少について

(委員)

日本の人口が減少していくとの推計が出され、その対応がこの地域にとっても重要。その対応としてどれだけ交流人口を増やすかということが課題となる。私どもとしては、観光振興の観点から交流人口を増やすために動いていかなければならないと考えている。

(委員)

前回(第1期)の際に、水産物の高付加価値化と有害鳥獣の駆除についての発言をしたが、それから更に高齢化が進み、後継者不足という問題もある中で、有害鳥獣による被害で産業がどんどん衰弱している。

一次産業がなくなってしまうと、人口流出のような形になり減少がどんどん続いていく。具体的な方策はまとまっていないが、皆さんといろいろ勉強していきたい。

○ **教育について**

(委員)

児童生徒の活動について、ALTの活用とドッキングするとか、北星学園大学の活用推進と他の教育関係の事業を結び付けるとか、その様な事について発言していきたいと考えている。

産業でも教育でも医療でも、ネットワークをしっかりと作って人口減少に対する準備を進めていく必要がある。

前回(第1期)も委員をさせていただいているので、責任をもって積極的に発言していきたい。

○ **環境問題について**

(委員)

環境問題については、単に一市一町だけで取り組めるものではなく、ここにあるように管内全体として協議会を作っていくことが第一だが、それがまだなされていないのだと思う。

稚内市はいち早く自然エネルギーを活用した取組みを行い、また3年前からは生ごみについても再生エネルギーとして取り組んでおり、発生する肥料を市民に還元するなど、この分野での稚内市の取組は進んでいるなど思っているが、稚内市だけで考えるのではなく、少なくとも宗谷管内はこの問題について、きちっとした連携をとって意見をまとめたり、出し合って進めていくことが大事だと考えている。

消費者問題との関連でも、宗谷管内は美味しいもの自然の産物が沢山ある訳なので、酪農とか水産業とかすべて環境問題とかかわりがあるので、この連絡協議会のようなものは早急に設立すべきと考えている。

○ **公共交通・交通インフラについて**

(委員)

バス事業は派生事業といわれている。利用者がいなければ必要ないということになるので、公共交通を確保するという点からは、人口減少や医療の問題が大きな課題になる。交通インフラの整備なども含めて全体の問題となっていくと思うので皆さんと協議を進めていきたい。

○ **全体について**

(委員)

具体的な取組事例を拝見して、非常に大切だと思われる施策が乗せられており、私共で言うところの広域連携とか観光客の増加だったりするのでしょうか、それがいわゆる人口減少への歯止めとしてどのようになっていくのかというところがイメージできないというのがざっくり

とした感想。回を重ねながら考えていきたいと思う。

(座長)

懇談会の開催について、直前の連絡ではなく、情報提供があつて、ちょっと考える時間があつて、場合によってはやり取りがあつて懇談会という形で進めていけたらと思う。

7 オブザーバーから

- 定住自立圏を進めていくうえで、行政の立場としてはどのようなメリットがあるかという部分での位置づけになると思っている。住民にとってメリットがある事業を進めていきたい。
- 今回ビジョンに追加される事業のうち、当町が関係するのは公平委員会の共同設置。自治体としては職員数も多くなく、公平委員会に諮る案件はほとんどないが、法律上は必置であり、それなりの経費を負担していた状況。共同設置ができたことで行政効率の向上という部分でありがたい事業であったと思う。
- 共生ビジョン策定後、本日説明があつたとおり新規の事業が進んできたということもあり、今後も色々な分野で新たな連携を進めていくことになると思う。あらためて皆さんと進めていきたい。
- デジタル・ディバイドの件で、稚内市の天興地区に携帯電話の鉄塔が建ち、当町の有明地区が不通話だったのが解消された。稚内市とも光回線を使ったりして当町側で解消された。
また、特別交付税の点からは、一千万円をちょっと上回るくらいの事業費の中で進めているが、今後の改訂に向けても交付税を満度にもらえるような形で事業を加えさせて頂こうと考えている。
- 一自治体の職員として、常日頃、自分の町の事に目線を置いているが、定住自立圏という目線の中での発想も必要であり、解決していかなければならない課題があると、改めて感じた。
- 各市町村においては個別の課題がたくさんあるが、定住自立圏という枠組みの中で共同で話し合っていくうちに解決できる問題も実際には出てきていると考えている。
ビジョン作成から3年を経過し、北海道、日本全国で定住自立圏の取組が進められてきているので、私たちも圏域の中でどの町もいような形で進められるかを改めて勉強させていただきたい。
- ビジョンを策定してから3年ほど経過しているが、その間、様々な取組がなされていると認識している。例えば今回のテーマとなっていた公平委員会の共同設置では宗谷管内の10市町村に8つの一部事務組合を加え広域連携の取組が進んだところ。今後とも、宗谷定住自立圏において、観光なり、医療なり、防災なりの様々な面で広域連携が進むことを期待する。

8 事務局から

第1回目の懇談会から熱心な議論をいただき、感謝いたします。

皆様の気持ちを今後の形につなげていければよいと思います。

定住自立圏構想の大きなテーマでもある人口の問題、過疎対策は歴代の市長、首長が抱えてきた大きな課題

です。これにどうやって歯止めをかけるかということが永遠のテーマであり、それに対して良い施策を打てていないというのが現状でした。

稚内市の一般会計約243億くらいの事業予算は、すべて人口問題対策、過疎対策です。

そういう様な事の中でも実はもっとメリハリを付けながら有効なところにお金を回していくということがこれからの私たちに課せられているテーマなのだと考えています。

これからも真剣な議論を繰り返していただいて、それは施策に反映させて行きたいと思います。